



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 妙徳
コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	1,682	△11.6	209	△40.8	217	△40.4	145	△24.6
27年12月期第3四半期	1,903	8.5	352	18.6	365	17.5	193	9.4

(注)包括利益 28年12月期第3四半期 75百万円 (△57.2%) 27年12月期第3四半期 175百万円 (△6.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	19.92	19.89
27年12月期第3四半期	26.28	26.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	4,130	3,730	89.9
27年12月期	4,125	3,721	89.8

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 3,711百万円 27年12月期 3,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	3.50	—	5.50	9.00
28年12月期	—	4.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,304	△5.7	305	△29.8	317	△28.8	211	△13.4	28.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) CONVUM USA, INC. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	8,285,000 株	27年12月期	8,285,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	974,613 株	27年12月期	984,613 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	7,308,489 株	27年12月期3Q	7,347,352 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により、企業収益の改善が進むなど、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら一方では、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化、さらには為替相場における急激な円高の進行など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、顧客ニーズに応える迅速な新製品開発と市場投入をおこなうとともに、拡販体制を強化し売上拡大に取り組んでまいりました。生産面においては、引き続き生産性向上の取り組みによる製品原価率の低減、顧客満足度向上を目指した短納期生産体制の構築などに取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,682,439千円(前年同期比88.4%)、連結経常利益は217,758千円(前年同期比59.6%)、親会社に帰属する四半期純利益は145,551千円(前年同期比75.4%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

スマートフォン市場の成長鈍化が鮮明となり、設備投資に力強さが欠けておりますが、営業体制を強化し拡販活動に努めた結果、売上高は1,192,004千円(前年同期比103.2%)となりました。営業利益については156,258千円(前年同期比82.9%)となりました。

② 韓国

半導体製造装置業界、液晶パネル製造装置業界の需要減速を受けたことなどにより、売上高は288,207千円(前年同期比61.5%)となりました。営業利益については、32,192千円(前年同期比26.5%)となりました。

③ 中国

スマートフォン市場の成長鈍化の影響などにより、売上高は138,772千円(前年同期比65.3%)となりました。営業利益については、14,589千円(前年同期比37.1%)となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりましたが、タイ及び周辺諸国の自動車需要減速の影響もあり、売上高は63,455千円(前年同期比95.0%)となりました。営業利益については5,988千円(前年同期比164.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ19,288千円増加し、1,909,597千円となりました。これは主として、現金及び預金が206,466千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が15,034千円、有価証券が100,000千円、製品が30,930千円、仕掛品が19,424千円、原材料が27,447千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ14,908千円減少し、2,220,599千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,379千円増加し、4,130,197千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,895千円増加し、257,088千円となりました。これは主として、未払法人税等が22,904千円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が6,438千円、役員賞与引当金が12,195千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7,441千円減少し、142,778千円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が6,317千円増加したのに対し、長期繰延税金負債が16,475千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,545千円減少し、399,867千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ8,925千円増加し、3,730,329千円となりました。これは主として利益剰余金が76,157千円増加したのに対し、その他有価証券評価差額金が13,260千円、為替換算調整勘定が57,581千円減少したことによります。

その結果、自己資本比率は89.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、第3四半期の実績に鑑み、変更をいたしておりませんが、今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、北米市場での営業活動強化のため、CONVUM USA, INC. を設立しております。

この結果、平成28年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社4社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	737,315	943,782
受取手形及び売掛金	501,890	486,855
有価証券	100,000	-
製品	202,251	171,321
仕掛品	119,034	99,609
原材料	157,579	130,132
繰延税金資産	36,386	31,283
その他	36,284	47,024
貸倒引当金	△433	△411
流動資産合計	1,890,308	1,909,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,474,599	1,448,641
減価償却累計額	△638,920	△657,917
建物及び構築物(純額)	835,678	790,723
機械装置及び運搬具	816,876	814,076
減価償却累計額	△616,071	△636,923
機械装置及び運搬具(純額)	200,804	177,152
土地	739,457	736,371
その他	556,405	594,494
減価償却累計額	△482,008	△491,616
その他(純額)	74,397	102,877
有形固定資産合計	1,850,338	1,807,124
無形固定資産	99,403	136,911
投資その他の資産		
投資有価証券	221,884	207,897
繰延税金資産	1,594	1,577
その他	62,288	67,087
投資その他の資産合計	285,767	276,563
固定資産合計	2,235,508	2,220,599
資産合計	4,125,817	4,130,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,334	46,896
未払法人税等	20,126	43,031
繰延税金負債	-	4
賞与引当金	26,228	24,425
役員賞与引当金	21,963	9,768
その他	132,539	132,962
流動負債合計	254,192	257,088
固定負債		
退職給付に係る負債	117,131	123,448
繰延税金負債	19,373	2,898
その他	13,715	16,431
固定負債合計	150,220	142,778
負債合計	404,413	399,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	948,842	949,355
利益剰余金	2,128,120	2,204,277
自己株式	△233,941	△231,565
株主資本合計	3,591,146	3,670,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,743	42,483
為替換算調整勘定	56,187	△1,393
その他の包括利益累計額合計	111,931	41,089
新株予約権	8,938	8,389
非支配株主持分	9,387	10,657
純資産合計	3,721,404	3,730,329
負債純資産合計	4,125,817	4,130,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,903,382	1,682,439
売上原価	743,626	744,250
売上総利益	1,159,755	938,189
販売費及び一般管理費	806,807	729,160
営業利益	352,948	209,029
営業外収益		
受取利息	2,397	3,375
受取配当金	5,793	6,619
受取地代家賃	8,446	9,769
その他	5,326	3,994
営業外収益合計	21,963	23,759
営業外費用		
売上割引	172	106
為替差損	5,161	10,510
減価償却費	3,440	4,140
その他	612	273
営業外費用合計	9,386	15,030
経常利益	365,525	217,758
特別利益		
固定資産売却益	1,908	1,150
特別利益合計	1,908	1,150
特別損失		
固定資産除却損	82	442
減損損失	727	-
役員退職慰労金	94,174	-
特別損失合計	94,985	442
税金等調整前四半期純利益	272,448	218,466
法人税、住民税及び事業税	83,557	75,743
法人税等調整額	△6,558	△4,439
法人税等合計	76,999	71,303
四半期純利益	195,448	147,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,331	1,611
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,117	145,551

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	195,448	147,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,399	△13,260
為替換算調整勘定	△30,745	△58,882
その他の包括利益合計	△20,346	△72,142
四半期包括利益	175,102	75,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,016	74,709
非支配株主に係る四半期包括利益	1,086	310

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,155,315	468,576	212,663	1,836,555	66,826	1,903,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	283,084	84,407	4,826	372,317	—	372,317
計	1,438,399	552,984	217,489	2,208,873	66,826	2,275,699
セグメント利益	188,539	121,411	39,347	349,298	3,650	352,948

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	349,298
「その他」の区分の利益	3,650
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	352,948

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,192,004	288,207	138,772	1,618,984	63,455	1,682,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	197,137	51,797	1,296	250,232	—	250,232
計	1,389,142	340,004	140,069	1,869,216	63,455	1,932,672
セグメント利益	156,258	32,192	14,589	203,040	5,988	209,029

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,040
「その他」の区分の利益	5,988
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	209,029